

## 平成29年度第1回豊臣石垣保存公開検討会議要旨

1. 開催日時：平成30年2月5日（月）10時～12時

2. 開催場所：大阪歴史博物館第1研修室

3. 出席者

【委員】中村座長、西形委員、岸本委員、小竹森委員、伊藤委員（順不同、敬称略）

【オブザーバー】

大阪府教育庁文化財保護課 中西総括主査

4. 議事

1. 現在の状況について
2. 展示計画の検討状況について
3. 石垣のモニタリングについて
4. 地震時の対応について
5. その他

5. 議事要旨

○現在の状況について

- ・石垣の状態（劣化状況）を見るためにも早期に発掘調査をしたほうがいいのでは。文化財ということもあり、劣化があった場合の対策を考える期間も必要である。
- ・石山本願寺期の扱いはどうするのか。豊臣期でとめるのか、重層性というもう一つの要素として、一部下も見られるという事を可能だったらやっていただければと思う。
- ・建築工事を実施している間の安定性のチェックもしたほうがいい。

○展示計画等について

- ・天守閣の展示の設置時期からこれまでわかってきている部分を把握した上で、最新の情報を展示に生かしてほしい。
- ・館名については公募等すれば事業として盛り上がりもある。
- ・外観については、どういうコンセプトで現在の外観になったかというところをまとめておく必要がある。
- ・石垣の上面が見えるので、ここをどうするか、何を见せるのかが検討課題になってくる。天端の見せ方や、壁面を使うのか使わないのか等決めたほうがいい。
- ・石垣の安全性を確認した上で、遺構の復元については現状で見せるのか、ある程度復元的に何かするのは検討がいろいろあると思う。
- ・最後のシアタールームについては、テーマは豊臣の時代からではなく、石山本願寺の時

代から行うべきではないか。

○モニタリングと地震時の対応について

- ・地盤変位調査については石垣の背面ではなく、後ろの斜面であるほうが良い。
- ・自動計測をすれば簡易計測は必要ないのではという話もあるが、簡易計測は直接目で  
すぐ確認出来るところがいいので併用がのぞましい。
- ・今の事務局案の石垣のそばに常時計測のツールがあるのは問題である（文化財の公開と  
いう意味で）。
- ・石垣のモニタリングの方法と、地震時の対応については、次回また検討したうえで報告。